



日々研修

兵庫県企画県民部
企画財政局市町振興課
高野 奈穂
Nao Takano

平成28年 4月 総務省採用
同 自治行政局選挙部管理課
平成28年 8月 現職

県内市町の交付金申請について取りまとめ、時間をかけてきた業務の集大成ともいえるので、特に神経を尖らせて最終チェックを行います。同時に、地方債の二次協議も進行。先輩職員のアドバイスを大量に浴びながら、質疑応答集やハンドブック等を読み漁り、市町とやり取りします。

市町から電話の嵐。上司や同僚に先を越されてばかりの電話も、受け答えまでスマートにこなせるように。朝のうちに上司や班のスケジュールを確認、頭上で交わされる話に聞き耳を立てながら、決裁を仰ぐ機会を伺います。

六甲おろしを背に坂を駆け下りて、電車で兵庫県庁へ。この日は、全国紙5紙と兵庫県の地元紙(各地域面も!)のスクラップのため、早めに出動です。



出勤・新聞切り
7:30



始業
8:45



情報収集
10:00

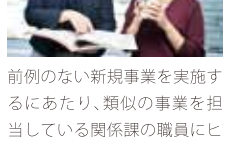


9:15
出勤・始業

始業より少し早く出勤し、一日のスケジュールを確認します。一日の流れをシミュレーションして、仕事に優先順位をつけ、重要なものから取りかかることも入省後に学んだ仕事術の一つです。



班内打合せ
10:00



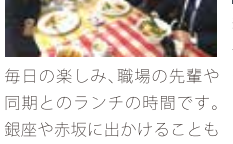
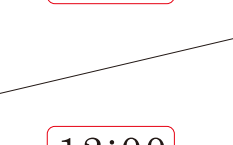
関係課からのヒアリング
前例のない新規事業を実施するにあたり、類似の事業を担当している関係課の職員にヒアリングをします。様々な事例を参考に、新規事業に最も適した運用方法を検討します。ここが一番の悩みどころ。持続可能な事業とするために考え抜きます。

情報通信という変化の早い分野に携わる職員として、情報収集は怠りません。刻一刻と変化していく状況をフォローできるように、新聞やネットニュースなどをチェック。気になる記事があれば課内に共有します。

県内市町の交付金申請について取りまとめ、時間をかけてきた業務の集大成ともいえるので、特に神経を尖らせて最終チェックを行います。同時に、地方債の二次協議も進行。先輩職員のアドバイスを大量に浴びながら、質疑応答集やハンドブック等を読み漁り、市町とやり取りします。



昼食
12:00



毎日の楽しみ、職場の先輩や同期とのランチの時間です。銀座や赤坂に出かけることもしばしば。お弁当を持ってきて、省内でゆったり過ごすこともあります。オンとオフの切り替えは大切です。

市町の財政担当者向けの地方財政対策等に係る説明会。回数を重ねるうちに、人前で話すことも不思議と慣れてきました。



説明会
13:30

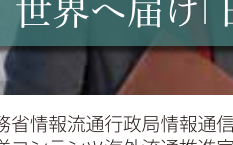


電話での打合せ
総務省の地方局である総合通信局と電話でやり取りします。全国11箇所の総合通信局とのやり取りはすべて一人で担当しているため、窓口として責任を持って説明を行います。電話を通して、現場での運用状況をヒアリングしながら、運用上の懸念点等の大切な情報を共有します。

退行
15:00



退行後は頭を切り替えて飲み会に顔を出すことも。同期の女子や学生時代の友人などとの楽しいひと時に癒されつつも、様々な分野で活躍する同世代に刺激を受け、明日への活力を養います。



退行
20:30

入省4か月後、兵庫県庁へ念願の地方赴任をしました。市町と国との結節点である市町振興課で、市町の財政に関する仕事をしています。地方債や決算統計、各交付金を担当しており、健全な財政運営のため助言を行い、市町の悩みに真摯に対応するのが私の仕事です。片や国の動向を見、片や市町の「現場の声」を聞くことができる環境を与えていただき、日々新たな発見がある一方、なかなか見えにくい「市町のその向こうの住民」の存在を改めて実感しています。決して「現場」を分かった気になることなく、無知を自覚した上で、住民の思いを守りたいと更に強く思うようになりました。私の秘めるこの「思い」を形にしていく中で、ここ兵庫での生活は間違いなく私の基礎となるものです。誰よりも兵庫を愛して、兵庫を語れるようにとの意気込みで、日々奮闘しております。

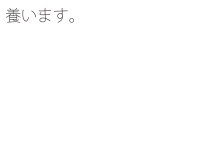
職場の飲み会。日々お引き回しいただき、「兵庫のべっぴん」を探求しています。美味しいものに囲まれて、気分よきまま、坂道を上って帰路につきます。



退行
19:00



退行
20:30



退行
20:30

～放送コンテンツの海外展開を通じたクールジャパンの推進～
皆さんは「放送コンテンツ」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。アニメやバラエティ、旅行番組など日本には魅力的なコンテンツが溢れています。これらを海外に展開することを通じて、「クールジャパン」の推進に貢献するのが私の仕事です。たとえば、日本の食文化を扱った番組。日本の食の魅力を視覚・聴覚に訴えかけるのにこれほど適したものはないでしょう。日本って「いいね!」と思ってくれる海外の方を増やすために、放送コンテンツは重要な役割を果たしています。また、各国に対して外国製コンテンツの放送についての規制を緩和するよう働きかけるのも仕事の一つ。日本のコンテンツをより多くの人々に届けられるよう国際交渉の場に出席するなど日々奮闘しています。放送コンテンツの普及により及ぼされ得る影響は観光客の増加やそれに伴う経済活性化、日本文化の浸透など多岐にわたります。放送コンテンツの持つ可能性を信じ、これからも日々の業務に取り組んでいきます。



世界へ届け「日本の魅力」

総務省情報流通行政局情報通信作品振興課
放送コンテンツ海外流通推進室
木村 美穂子
Mihoko Kimura

平成28年 4月 総務省採用
現職



技術系

先輩からのメッセージ